

各 位

会 社 名 株式会社スーパー大栄  
 代 表 者 名 代表取締役社長 中山 勝彦  
 コード番号 9819 (福証)  
 問 合 せ 先 執行役員管理本部経理部長 阪本 博美  
 T E L (093) 602 - 2770

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 26 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成 18 年 3 月中間期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)  
 (単位:百万円、%、百万円未満切り捨て)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 17 年 5 月 26 日発表)	15,000	70	940
今 回 修 正 予 想 ( B )	14,581	25	1,562
増 減 額 ( B - A )	418	44	622
増 減 率 ( % )	2.8	63.6	-
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間期)	15,359	8	60

2. 平成 18 年 3 月通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)  
 (単位:百万円、%、百万円未満切り捨て)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 17 年 5 月 26 日発表)	30,350	120	920
今 回 修 正 予 想 ( B )	29,500	30	1,550
増 減 額 ( B - A )	850	90	630
増 減 率 ( % )	2.8	75.0	-
前期実績 (平成 17 年 3 月期)	30,319	32	70

### 3. 修正の理由

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の回復による設備投資の増加や、雇用及び所得環境の改善が下支えとなり、景気は着実に回復の兆しがみられました。

しかしながら、当中間期における九州圏内の小売業界は、地元スーパーをはじめ総合ディスカウントストア、大型ドラッグストア、更には中央大手スーパーの出店ラッシュが続き、業界を取り巻く環境は以然にもまして厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は店舗のリニューアルや CS(顧客満足度)、QSC(クオリティ、サービス、クリーン)活動に力をいれ、店舗の活性化を図り集客力の増加に努めてまいりましたが、新規競合店の進出や低価格競争が影響し、業績は期初予想を下回る見込みとなりました。

その結果、売上高は当中間期が 14,581 百万円(前回予想比 418 百万円)となり、通期は 29,500 百万円(前回予想比 850 百万円)に修正、経常利益は当中間期が 25 百万円(前回予想比 44 百万円)となり、通期は 30 百万円(前回予想比 90 百万円)に修正、なお当期純利益につきましては「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い 1,498 百万円の減損損失が発生いたしますので、当中間期の当期純利益は 1,562 百万円(前回予想比 622 百万円)となり、通期は 1,550 百万円(前回予想比 630 百万円)に修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以 上